

# 世田谷町総連左よ

## 第4号

発行 世田谷区町会総連合会  
 世田谷区深沢2-3-3  
 発行人 会長 三田隆真  
 編集 情報誌編集委員会  
 編集委員長 渡辺三郎

### 特別企画

東京都議会 熊本哲之議長に聴く

## 「町会のあるべき姿」

町会は住民を代表して、区政の末端に於いて施策の受け手となり、施策が円滑に住民に浸透するように努め、かつ必要な場合は住民側の主張を行政に反映させることよって、区の地域行政の運営を支えているという自負を抱いているが、区政側の対応は、それに十分マッチしているのだろうか。二、三の事例では疑問を持たざるを得ないことは事実である。

町会のあるべき姿について世田谷区選出の都議会議員熊本哲之先生は予て一言をお持ちであるが、昨年度議会議長になられたのを機会に町会総連合会情報誌



議長室の熊本議長

編集委員会として面会をお願いしてあったが、さる四月二五日議長室において一時間におわたってお話を伺うことができた。

### 編集委員会側

会長 三田 隆真  
 編集委員長 渡辺 三郎  
 編集副委員長 神保 充夫  
 事務局 三輪 幸夫

### 災害弱者の

### 確認について

まず町会総連合会だよりをご紹介して、第三号の江東区における地域防災への

取組方を勉強してショックを受けた話から展開した。

議長は江東区長とは都議会同期だったので、よく知っているが下町の方が何と言っても町会意識が強い筈だし、補助金もきつと多いと思うと、手元の資料をめぐって江東区は六万五千円から十万円、世田谷は五万五千円かと実情を確認されてから、「私が町会の問題を言い出したのは、去年の阪神大震災のときに、全国から集まった救援物資が末端まで行き渡らないというのを聞いて、昔の隣組のような組織が必要ではないかと考えたからだ、その後議長になったので立场上そういうことを先にならなければならないのだが」と断りながら三田会長に昔の隣組の規模や役割などを聞き出しておられた。

昔は避難した場合、あるおばあさんの顔が見えなければ、すぐにそれと分かかって探しに行くことが出来たが、「隣は何をする人ぞ」の現在の東京では、町会長

でもそれは分からないことになっていて。神戸市長田区真野地区ではお互いに高齢者の名前を呼び合って難を逃れたし、逆に神戸ろうあ協会の記録によれば、災害が起こってから一千万所の避難所を回って聴覚障害者の名簿をつくるのに、一月二十三日から三月十八日までかかっている。また、視覚障害者が十六名亡くなっているが、そのうち何人かは救助の手が早ければ助かった状況ときいている。

町会で災害が起こる以前に身障者や高齢者の名簿を整備してあったならば……と、考えさせられる問題である。

### 町会の

### 位置付けについて

現在、警察や消防署からは各種の指示や依頼事項を町会長あてに送ってくるのに対し、区からの同種の書類では「関係各位」という肩書きで送付して来るのが実情である。理由は区の認識では町会は「任意団体」

世田谷地域

町会加入者を増やそう

世田谷地域町会連合会会長  
松丘町会長 安田 憲 吾

町会の運営に不可欠の条件は、何といても町会会員の確保にあります。近來アパートやマンションに住む人々の中には、町会に対する認識の欠如から町会への加入に消極的な人が増えている傾向が見られます。そこで、当町会では別添のとおり「町会加入依頼」という印刷物を作り、新たに

ただし一回だけの配布で

であるということによる。これは町会が軍国主義を育成し、維持してきたという過去の幻影に未だ怯えているとしか言いようがなく、反対勢力からさえも自衛隊が公式に認められ、海外派遣が承認されるに至った今日、あまりにも時代錯誤ではないかというのが町会側の気持ちである。議長からは法人資格が認められている町会がいくつ

有るかというご質問があり、百九十二町会中、丁度十町会である旨お答えすると、「法人化することが出来ると言っているだけで勝手にやりなさいではなく、区の方でも積極的に指導して行くべきだ。町会の地位確立の実現のための具体的な申し出があれば、いくらでも相談に乗らせていただく」という有り難いお返事があつた。

町会の位置づけがはっきりする事は町会にとって会員獲得にも好影響が有るということも話題になった。

都町連への加入について

前段に関連して世田谷は東京都町会連合会に加入していないのかという指摘があり、この問題を都町連を通して上げてくれれば解決

は一層早いと思うというご示唆があった。

警察、消防署などの期待

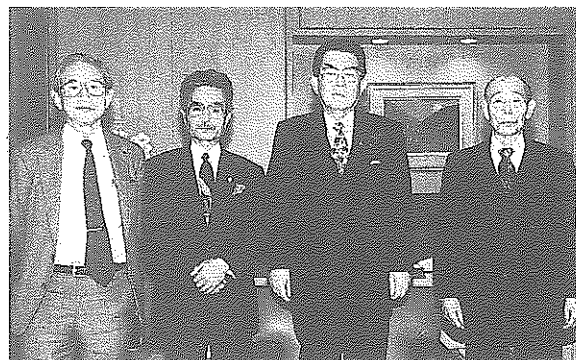
警察、消防署などの行政機関は町会に対して、もっと指導者のな気持ちを持たせたいと考えているが、「任意団体」では自らプライバシーの壁を超えた指示を依頼することが出来ないで躊躇しているところがある。町会の位置付けが

しっかりすれば、非常災害用の装備なども更に強化され、活動に伴う補助金等の裏付けも自らしやすいようになるであろうから、町会

お願い

松丘町会への加入（入会）依頼について

謹啓 世田谷区桜3丁目ならびに桜2丁目（一部区域）に居住もしくは営業されている方、皆様が居住（店舗、アパート、マンション等）されている桜3丁目全域と桜2丁目一部区域の住民により構成された地域住民自治組織の名称は松丘町会と申します。その運営目的は、健康で明るい生活環境の維持促進、地域の美化および会員相互間の親睦に寄与することであり、ここに、未だ松丘町会に加入されていない方々のために、町会の主たる活動内容の一部をご紹介させていただきます、あわせて多数の皆様のご加入をお願い申し上げます。



会談を終わって

側も更に努力を続ける覚悟であるので、都側でも引き続きご指導下さるようお願いして議長室を辞した。  
(文責 編集委員)

会長改選一覧(その1) 世田谷地域町会連合会

町会・自治会名	新会長名	旧会長名
池尻北自治会	菊地博之	綱島榮藏
池尻団地自治会	小林昭彦	山内高雄
下馬5丁目町会	梅田重男	小林正佳

会長改選一覧(その2) 北沢地域町会連合会

町会・自治会名	新会長名	旧会長名
下代田西町会	青木弘	清水藤吉
代田4丁目町会	今津博	与田信彦
大原南町会	磯崎善美	小林茂吉
羽根木町会	宮田玲人	榎本信雄
赤堤3丁目自治会	須賀重和	田中明
桜上水1丁目町会	堀池有	中村好男
経堂赤堤通り団地自治会	赤羽親	垂水悟郎

効果がすぐに現れる訳ではなく、町会長が自分で配って歩き、後日また訪問して読んでくれたかを確かめ、

まだならばこれを話題にして更に説明を加えるという後処理が必要なことも覚悟しなければなりません。

※町会運営の費用は加入会員の皆様から納入される会費を主な財源としております。

記

- 一、防犯活動(防犯灯の費用負担、歳末夜間警戒、婦人防犯指導員による防犯点検等)。
  - 一、交通安全運動(世田谷警察署との協力)、防火診断巡回(世田谷消防署との協力)。
  - 一、地方自治体(世田谷区役所、東京都関係機関など)が行う広報活動への協力。
  - 一、震災時を想定しての防災避難訓練などの実施、自衛救急用具(薬品等)の保守管理。
  - 一、成人式の日には、町会員家族の該当者へ慶祝品を贈呈。
  - 一、松丘、桜、桜丘小学校新入学児童で町会員子弟該当者への祝品の贈呈。
  - 一、松丘、桜、桜丘小学校生徒の校外活動に対する助成金の交付。
  - 一、松丘、桜、桜小学校および桜丘、桜木、桜丘中学校運動会への祝金贈呈。
  - 一、夏休み子供大会への協賛(催事方法の指導・相談、実行時の安全確保の協力など)。
  - 一、世田谷八幡の秋季祭礼(太鼓山車、神輿巡幸の供奉など)の実施協力。
  - 一、町会員相互の親睦を図るための日帰り旅行(栗拾い、ブドウ・キノコ・ミカン狩りなど)の実施および趣味・知識向上のための婦人、青年、熟年部などによる、催事活動(詩吟、舞踊、カラオケ、野球、ゲートボール、視察旅行など)の実施。
  - 一、敬老の日には、町会員家族の該当者へ慶祝品を贈呈。
  - 一、町会員、会員家族の死亡時には弔慰金をお贈りして哀悼の意を表しております。
- 以上の他にも様々な活動を例年実施してまいりましたが、私ども役員一同におきましては町会員の皆様方の好評を得ていますことと自負いたしております。
- また、今後ますます充実した活動を強力に推進していきたいと考えております。
- つきましては、右に記しました当町会の運営目的および活動状況をご理解いただきましてぜひとも速やかにご加入下さいますようお願い申し上げます。

なお、ご加入の折には、各班の班長宅か左記の町会総務担当役員宛にご連絡下さい。

- ① 担当役員 久野 秀夫(町会総務部長) 世田谷区桜三丁目二十七番十二号 電話(四二八)二七三八
- ② 会費 一般住宅、アパート、マンション、店舗等で 一世帯(一ヶ月)一口につき一〇〇円、一口以上。
- ③ 集金方法 町会の班長もしくは当番が皆様のお宅へお伺いさせていただきます。なお、三ヶ月ごと、六ヶ月ごと、一括年払いの三通りの方法がありますが、なるべく一括年払いでお願い致します。

敬具

松丘町会会長 安田憲吾

昭和六十三年四月吉日

北沢地域

# 行事への参加で意識が変わる

豪徳寺一丁目町会

町会長 上保 正三郎

## リサイクル活動について

当町会では、資源のリサイクルに積極的に取り組むと占紙、空ビン、衣類等の回収を業者の手を借りず、町会員だけで、役員の高齢化にもめげず、毎月一回実施しています。そして、年一回再利用できるものをリサイクルバザーと称し、販売しています。収益金は、寄付、町会員の福利厚生に役立てさせていただいております。

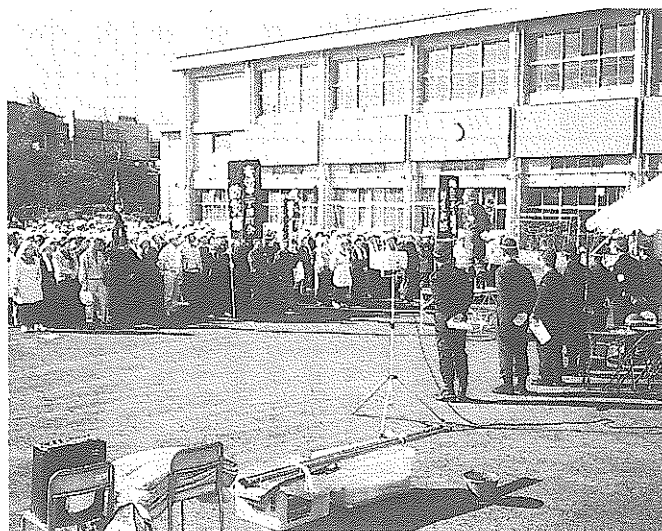
## 防災対策について

昨年度初めてお隣の町会と合同防災訓練を行いました。何回も合同の役員会を開催し、従来の訓練方法をひと工夫して知恵を出し合い実施しました。役員達が積極的に企画にたずさ

わったという  
ことで大いに  
盛り上がり、  
双方の町会共  
いつもの動員  
数の三倍もの  
町会員（二町  
会で二百名）  
が参加し、大  
成功をおさめ  
ました。

〔写真〕

また、年末  
には歳末特別  
警戒の夜回り  
を当番で実施  
し、喜ばれています。



一口に言って防災対策は、  
訓練のくりかえしを通じて  
日頃の人間関係の円滑さを  
保つことが良いと阪神大震  
災での消火活動が物語って  
います。我が町会ではD型  
消火ポンプを備えており、  
日常的に起こりうる火災の  
消火活動に際し、いつでも

出動消火できるような体制  
をつくらうとしています。が、  
ポンプの取り扱いのできる  
消火隊員が少数で、頭を悩  
ませています。今後は女性  
も含め少しでも多くの町会  
員が操作できるように訓練  
体制をつくっていくつもり  
でいます。  
消火ポンプで忘れてなら

ないのは、肝  
心の防火水槽  
が我が町会に  
は一つもない  
という決定的  
なハンディキ  
ャップがある  
ことです。行  
政に至急確保  
するようにお  
願ひしている  
ところですが、  
なぜか先送り  
になっていま  
す。広い区道  
のまん中に地  
下水槽を作っ  
ていただくも



よし、地上消火栓、ミニ公  
園（町会になし）を確保し  
て地下に設置すること等早  
急な対策を講じていただか  
ないと、大災害を考えると  
冷汗が出る思いがします。

## 行政と町会の

### 結びつきについて

とかく行政からのお知らせ  
（動員を含め）ばかり目  
立ちます。各町会代表によ  
る委員会制も単なる行政の

施策運営を円滑にする受け  
皿だけの委員会にならぬよ  
うに、我々町会側も地元を  
よく知り、対策を考えて行  
政にお願いしていくべき問  
題点を明確にして、双方の  
関連をより深めていくべき  
だと考えます。

## 隣近所の

### おつきあいについて

行事が近づく、役員一  
丸となって直接頭をさげて

町会の皆さんに動員をお願いする訳ですが、行事に誘われるのが嫌で、役員の家の前を通らないと言われる程では問題です。一度参加されると意識が変わり、自覚も生じ、親しみも出て、うちとけるようになります。従来言われてきた、都会の隣近所のおつき合い無用論はなくなり、第二、三世代が地元で生まれ育っていることを含め、良い意味での「つきあいの型」ができつつあると思います。

玉川地域

高齢者と災害

阪神・淡路大震災は都市直下型地震の恐ろしさを見せつけてくれました。人的被害はもとより、高速道路、鉄道やライフラインなどの都市施設の崩壊、都市機能への影響も大変なものでした。特に人的被害について

は死者六三〇八人。年齢別にみると六十歳以上の死者は二九〇四人で、五三パーセントの多くにのぼっています。高齢者を災害時に如何に守るかという事は以前から大きな課題として議論されて来たところですが、

阪神・淡路大震災はこの点でも大きな問題提起をしています。東玉川町は人口の高齢化が顕著に進んでいます。それは昨年の高齢者実態調査でも証明されています。高齢化率は一丁目が一五パー

セント、二丁目は一七パーセント。一人暮らしの人は七九人。うち八五歳以上の人が五人、寝たきりの人は三八人、高齢者のみ世帯は五六世帯、一一三人。うち寝たきりの世帯が七世帯もあります。このような高齢者の実態を頭に入れ、今直下型大地震に襲われたら高齢者を守る事が出来るか大いに不安です。

さてそれではどうすればいいのか？  
まず第一に、高齢者のリ  
ストを把握して災害時に備える。特に寝たきり、一人暮らし、高齢者のみ世帯のリストは完全にし、万全を期す。  
第二には、日頃から横の連絡を密にし、町会を中心に地域の交流を活発にし、高齢者への認識を高め、弱者防災の重要性を認識してもらい、災害時の協力をお願いする。  
第三には、今後の防災訓練は、出張所単位で防災協議会を作り、町会、高齢者

東玉川町会副会長 石井一正



投稿

代沢中町会会長 宗 晴

「マイ・バッグ・キャンペーン」提案  
— レジ袋をことわる運動 —

レジで渡すレジ袋、もらうのが当たり前になっていませんか？

皆さんは1日に何枚レジ袋をもらってきますか？

都民 1,200万人の年間に使用するレジ袋は33億枚に達しています。(平成8年2月現在) 1枚5円とすると、

$$5円 \times 33億枚 = 165億円$$

これが年間3万3千tのゴミになるのです。

ゴミ処理原価1t当たり5万円(平成5年度)とすると、

$$5万円 \times 33,000t = 16億5千万円$$

$$\text{袋代} + \text{ゴミ処理原価} =$$

$$165億円 + 16億5千万円 = 181億5千万円$$

年間181億5千万円を、埋立て地へ廃棄している勘定になるのです。何と驚くべき金額ではありませんか。

その上、500年経っても土にならないでプラスチック製品なのです。

そして埋立て地は満杯！

以上ご理解頂けましたら、さあ、今日から自分の買物袋を持って、「レジ袋をことわる」運動を始めましょう。

資料 広報東京都第 593号ごみ問題特集号 '95 清掃のあらまし 東京都清掃局

クラブ、商店会、PTA等の参加で、横の連絡を密にしておこなう。これは災害時の避難所生活を考えた場合にも大切な事だと思われる。この意味で本年3月21日発足の奥沢出張所管内防災協議会準備会の充実と今後の活動が期待される。十

月中には協議会主催の訓練を予定している。以上のような活動により被害を最小限に出来ればと思いますが、この拙文をお読みの方で良いお考えをお持ちの方御教示お願い致します。

# 課題多き自治会運営

九品仏自治会

会長 奥出一雄

約三八五〇世帯に対し会員世帯は二四〇〇と低く、加入率六十パーセント強の壁をなかなか打破することができず、大きな課題を抱えています。

や関係機関からの要請を消化してゆくのが精一杯の現状です。そんな状態の中にあつ、地区独自ともいふべき事業のいくつかを紹介致します。

その会員増加の推進力となる肝心の役員もわずか十六名(うち女性十三名)で、六十歳台と七十歳台が中心勢力となっており、若い人の引き受け手がないのが最大の悩みとなっております。このことが他の町会・自治会のような各部の結成も思うに任せず(未組織)、区

昭和三十六年九月十日オーブンしました。(前は九品仏自治会館、即ち当会の事務所でした。)区から会館の管理業務を委託され毎日携わっております。青少年九品仏地区委員会では、有

効利用の一つとして毎週土曜日の午後、一階と地下を子供たちのためのオープンスペースとして開放し、子供たちが地域活動を通してよりよい人間関係を養うことができるよう、委員が当番にあたってお世話しております。

当会館は交通の便もよくまた葬儀にも利用できることから多くの人に利用されております。

## ○新春餅つき大会

青少年九品仏地区委員会の主催行事ですが、前掲の地区会館の内外を使用して、毎年一月に実施しており、今年で八回目になります。

## ○「文化財防火デー」に伴う消防演習

文化財を火災から守るため、毎年防火デー(一月二六日)に浄真寺(通称九品仏)境内で消防署、消防団と一緒に放水訓練を実施しております。

## ○ラジオ体操

学校の夏休み直後の七月

▼文化財防火デーに伴う消防演習



二二日から三一日までの十日間、浄真寺境内で毎年実施しております。

## ○地域の祭礼

九月十四日、十五日は奥沢神社の祭礼で、九品仏地区会館の側に神酒所を設置し、山車、子供みこし、大人みこしが出ます。子供みこしは、町内を回りながら

九品仏小学校の校庭に乗り入れ、児童との交流を図っております。圧巻は恒例となっております大蛇御輿のお練り神事です。

## ○資源分別回収の発足

地区の隣接二町会から遅れること一年余り、三月下旬からやっとスタートすることができました。

# 大切な支え合い

等々力三和会町会

会長 鈴木正治

三和会町会は、南を目黒通りの一部に面した等々力七丁目、八丁目全域と、六丁目の一部地域を含む戸数約二千戸、人口約五千人を超える緑の多い静かな住宅街の中の町会です。他町会と同様に、活動は行政機関、消防署、警察との連携を密に、自主的な運営を行っています。毎年五月の第二土曜日に定例総会を開催し、地域の人々との親睦を図りつつ、活動の反省と推進をしています。

## 敬老会開催

毎年菊薫る十一月三日、玉川神社社務所で、会員の長寿をことうほぎ敬老会を開催します。町会行事の中の一歩のイベントです。お菓子とみかん、お汁粉のサーブにカラオケも加えて、高齢者の方々をご慰労申し上げております。神社の境内は、菊愛好会の菊の花や早めの七五三のお参りで華やかです。役員も考えますが、良き伝統の敬老の心を次代に受け継いで貰えるようこれからも続けていきたいと思えます。

## 防災防火対策

七丁目にある器具置場に、町内消化隊の部員が毎月第一日曜日午前七時三十分集合、C級、D級ポンプによる操作訓練を行い、いざと言う時に備えております。地域の方に防火防災の認識を深めて頂くため、関係機

い親子づれを招き、日頃親しむ事の少ない農家の畑に入り、作物を見たり触れたりした後、バーベキュー大会や、西瓜割りを楽しみます。子供たちが二十一世紀を担う若者に育つよう、婦人部の方々と地元農家の協力により実行しています。

# 町会長に就任して

上野毛会長 土屋敏之

地域社会が大きく変化している中で、町会運営の厳しき、役員負担および高齢化、少子化等ありますが、阪神での大震災を思い出すと、地域での支え合いの大切さを教えられました。これからは、心の通う、共に生きる町づくりを目指してゆきます。

町会長に就任して一年が過ぎました。それというのも前町会長が区議会議員に当選し、必然的に副会長の私があとを引き受けることになった訳で、長として人の上に立つ重さを感じています。未だ町会の仕事の中身や役所(出張所)との係わり等解らない事も多く、出張所長をはじめ隣接町会長や町会役員の皆さんに助けられながら仕事を進めている状態です。

この一年町会の仕事に携わり特に感じたことは、人と人の心のつながりや思いやりが時代とともに薄らいで行くような気がしてなりません。私は、日常から家族、隣近所、勤め先等での習慣として何事も心地よい朝のあいさつからと心掛けるようにしています。そしてうわべだけの上手な話よりも下手でも心のこもった飾らない話の方が大切だと思っています。それがひいては町の繁栄、町の連帯感につながっていくのではないで

しょうか。過日ある会合の席上昔の「トントン トンカカリと隣組」の話ができました。全くそり通りで、昨年一月に発生した阪神淡路大震災は、日頃から隣保組織がしっかりしていれば被害を最小限にとどめることができるのだと私たちに多くの教訓を残しました。我が町会も今年度から、隣組式に町内を班別に分け、年度交替で責任者を決め町会費をはじめとする集金等の仕事を通して、お互いに苦労を分かち合い、会員相互の意志の疎通を図り、町の様子を把握するなど安全なまちづくりの実現に努力して行きたいと思っております。当面最も大きな町会の課題は、リサイクルを進めるため資源分別回収ができるよう町会あげて準備をすすめています。リサイクルステーションの選定や協力員の推せんなど会員の協力が不可欠であり、一日も早い実施に向けて全力を挙げて取り組んでいるところです。

## 親子納涼大会

七丁目公園に、町会の若

# 私たちの町の二大イベント

瀬田町会

副会長 櫛田 ミツエ

私たちの住む瀬田町、特に中心的存在「瀬田町会」は、ずいぶん歴史的に永く、多分大正の頃からでしょうか、その頃は、きつとのかな多摩川に沿った美しいまちであったことでしょう。でも現在では立派な交通の要所を中心に、それも環状八号線を包み東西に長い街

として発展しています。こんな町で暮らしている私共ですが、町内の皆様は、大塚町会長を中心に種々様々の行事に和気あいあいと参加しています。中でも左記の二大行事が現在瀬田町会の自慢のイベントなのです。

春のフラワールランドの花祭り

この行事は瀬田五丁目のフラワールランドで、役所の方々や町会長を中心に、町会の役員達で、春の五月、草花の萌える中、ヨーヨー、ポップコーン、焼とり、焼ソバ等の模擬店と季節の苗木配布、フラワールランドの先生方の植物に関する相談等、又老人クラブ「瀬田寿会」の応援を受け輪投げのゲーム等、老若男女、楽しく二日間に行われていきます。

運動会

今年で十回目の町会主催の瀬田運動会は、秋の佳き日、瀬田小学校の校庭で、万国旗も賑やかに二四六号線を境界として、東西対抗の各種の競技を優勝カップを目指して熱心に争うのです。小中学校の生徒も、先生も、又一般の住民も、みんな童心に返って遊戯、玉入れ、かけっこ、綱引きな

どに参加します。特筆すべきは町内の老人達もゲートボールごっこに参加します。町内の有志の方のご寄付による賞品等も盛り沢山。あつという間の一日が……。これが町内一致の姿ではないでしょうか。お互い町内に住む者のコミュニケーションをいっまでも続けてほしいと、私共役員は希望しているのです。

## 地域

### 地域の支え合い活動の充実を目指して

祖師谷千歳台自治会

会長 神宮 寿夫

#### 一、自治会の現況

砧地域管内の最北部に位置する当自治会は、京王・小田急両線のほぼ中間、最寄り駅に出るにはバスの利用か、もしくは歩いて二十分余、交通は至便とはいえない。然しながら葡萄畑、

栗林や多くの農地が散在し、武蔵野の面影をのこしており、夜は車の騒音もなく、静寂さは区内でも珍しく、住宅地には最適の環境である。

に、年々戸建てやアパート・マンション等が畑にとつて変わり、都市化の波が押し寄せてきた。会員世帯数七五〇、加入率は約九〇パーセント、九班五一組、総務部以下六部、一本部の組織構成で班長以上の役員

会長改選一覧(その3) 玉川地域町会連合会

町会・自治会名	新会長名	旧会長名
尾山台クラブ	平井朝子	児玉優子
尾山台灯交會	兼子由雄	矢作信
尾山台自治會	坂田昇	坂田兵重
尾山台3丁目町會	武田信夫	若菜直衛
野毛町會	木村新平	原英次
玉川中町會	臼井昭一	細井正治
中町4・5丁目町會	九野忠利	広瀬竹生
交和會	本田次郎	小澤節齊
桜新町新和會	須田千代子	清水
駒沢町會	椿儀	松本正男(代行)



数は十五名。他の自治会に比較し平均的な規模と思われる。

二、支え合い活動へのスタ

ート

一昨年五月、将来の高齢化社会へ向けてのテーマで、高齢者計画課長を講師に組長会を開催した。その結果、大きな関心が高まり、相互扶助の認識が深まった。更に六月、役員会を開催し「地域の支え合い活動」のモデル地区に応募することに決定をみた。八月一日、区より正式に決定通知を受け、急遽世話

人を含め二十名を超える合同役員会を開催、今後の方針、取り組み、担当など活発な意見や提案が出され、真剣な討議を続けた。

三、当自治会の目標

ひとり暮らしをはじめ、地域内高齢者の「寝たきりゼロ」を目標に、あらゆる機会を通じ「自治会住民の交流を促進する。当自治会地域は高齢者が利用できる施設が少なく、また老人クラブ活動などがないので、高齢者の地域活動へのより積極的参加をめざし、各種の事業展開を推進する。

四、交流をはかる場

交流をはかる施設として、唯一区の塚戸集会所があるが、ワンフロアで而も2階であるため、利用度が大幅に制約されている。従って最寄りの公共施設といえ、区立の塚戸小学校に依存せざるを得ない。幸い学校長の全面的な協力により、日曜・祭日・土曜日など学校側に支障のない範囲で、体育館をはじめ会議室、三十畳の広さの「いなほの間」等で、囲碁教室、運動教室など年間計画通り実施し、多大の成果を挙げることができた。

五、平成七年度の活動状況

- (一) 敬老福祉大会
  - 落語観賞：三遊亭生之助
  - 健康講座：増田 陸郎
  - 茶話会（参加約五十名）
  - (注)医師と師匠は自治会員でボランティア
- (二) 文化展覧会（第2回）
  - 書道・絵画・写真・手芸等
  - 出展者五十名、出品一五五点
  - 入場者約一〇〇名。
- (三) 囲碁・将棋・オセロ教室
  - 毎週日曜日 参加者十数名
- (四) 卓球・バドミントン教室
  - 毎週日曜日 参加者十数名
- (五) 手芸教室 第三木曜日
- (六) 書道教室 第二・四木曜日
- (七) 高齢者アンケート調査（第二回）
  - 七五歳以上を対象、国や区自治会への要望更に現世相に対する意見等、運営に貴重な資料として活用。
- (八) ボランティア保険の加入（二年目） 一一六名加入（行事参加者及び世話人役員全員）

鳥山地域

この町に住んでよかった

上北沢町会

会長 大森 一三

千歳清掃工場の完成

一日に六百トンのごみを焼却することができる、今では最新鋭の工場が平成八年四月にオープンした。これからの焼却場は臭くない、うるさくない、公害がない、

の三ないである。

オープンに際して上北沢地区の身近な町づくりを中心に町会連合会多数で見学した。感想は地形に合った地下を活用し、緑のある公園、駐車場、余熱を利用し

た憩いの場と、住民の意見を取り入れた工場である。

既存の水路を利用して流れる環流水路親水公園、夏などは子供達の水遊びの場として大いに賑わう。親と子の会話、大人達の井戸端会

六、結言

かつて当自治会の周辺は縄文時代の土器が発掘され、仙川や釣鐘池など湧水が豊

富で、水利の便が良く、加えて地勢が南向斜面で先住民の生活には最適地であったと思われる。平成の時代に入り、いま社会は激動のなか地域に住む私たちは縄文の往時に想いを馳せ、共に支え、共に生きる、平和で生き甲斐のある世の実現に全力を捧げていくことを決意したい。

会長改選一覧（その4） 砧地域町会自治会連合会

町 会・自治会名	新会長名	旧会長名
祖師谷第6自治会	福田 岩 基	福岡 徹
法人格成城自治会	高橋 玄	宮 康 幸
千歳船橋郵政自治会	福住 耕 治	石 関 明
喜多見上部自治会	河野 通 敬	小 川 兼 吉
清水建設砧アパート自治会	今野 隆 充	高 田 徹

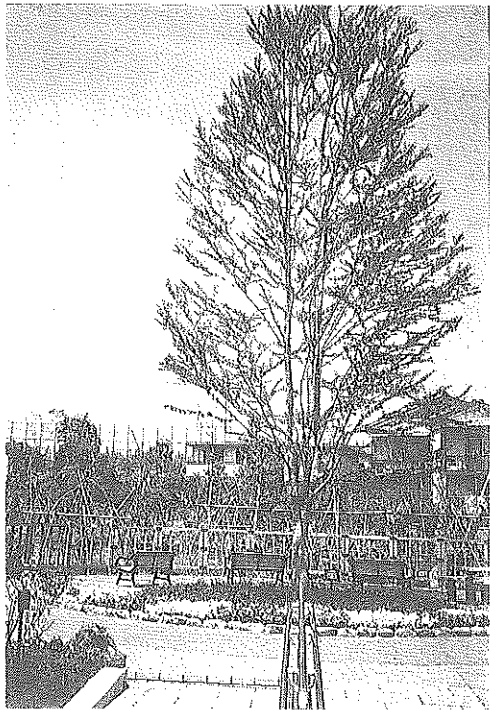
議ならぬ亭主  
や子供達の愚  
痴話か？

また、北に向かつては五百坪もある土地を利用して、平成七年度の計画に組み込まれた野鳥の森公園、正式名称は「かまのくち緑地」、園内には池を中心に低木で実の成る樹木を植え込み、年中花を咲かせて昆虫、野鳥を寄せるとのことである。上北沢地区には、コゲラ、ヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ等、渡り鳥、留鳥など沢山の野鳥が飛んできます。鳥、昆虫のための楽園、人間は柵の外でという公園になった。

千歳清掃工場と近隣の公園を一体にした上北沢地区、この地域を中心にして大人も子供も近所付き合いを大切にして「この町に住んで



新装なった千歳清掃工場  
八幡山かまのくち緑地



よかった」という町になりつつあります。

### 新樹苑

北に大きく足を延ばすと、新樹苑。人口の高齢化や核家族化が進み、この地区でもひとり暮らしや高齢者世帯が増え、世田谷区内で一番の高齢人口であるそうです。新樹苑は全国でも先駆的な施設で、ケアは集合住宅として昭和六十二年四月オープン、七十歳以上のひとり暮らしの高齢者四十人が住む居住棟と、デイホームサービス、機能訓練サービ、保育園児とのお遊び会、八幡山町会との盆おどり、餅つき大会とコミュニ

ティーの交流を深めている。又、地域のひとり暮らしで身体の不自由な老人に、食事サービスとして四十人余りの協力員が、食事を配達し、お年寄りに大変喜ばれている。

### 上北沢出張所

北へきたへと足を延ばすと上北沢区民センター、上北沢出張所がありこの地区の中心になっている。

「秋の自由広場」「文化祭」などの文化のかがり一杯な催しが、各町会、自治会の協力で行われ、明るく住み良い町づくりに貢献しています。

## 上祖師谷出張所管内 五つの町会自治会躍る

都営第一八幡山団地自治会

副会長 櫻井茂利男

世田谷区全体の面積は、五八・〇八四平方キロメートル、その二十七分の一が、どっしり根を下ろしている。

### 会長改選一覧(その5) 烏山地域町会自治会連合会

町会・自治会名	新会長名	旧会長名
都営第1八幡山団地自治会	本間 充	櫻井 茂利男
児ヶ谷会	高野 伸江	加治屋 俣郎
烏山北住宅自治連合会	原田 治夫	島村 馨
芦花公園前住宅自治会	作井 哲也	西田 秀夫
烏山第1団地自治会	R・Dベイカー	三浦 弘喜
給田南自治会	鈴木 和夫	角田 陽子

武蔵野の面影を残し、山鳩が鳴き、ときには、鶯の声さえ聞くこともあり、都立の芦花、祖師谷の二大公園をはじめ、豊富な緑がこぼれるように広がり、ここが東京かと思わせる街なみは地域の自慢でもある。

世田谷の西部を流れる仙川も出張所の管内、そこにかかる橋は地元住民の意見が反映されて、どれもがモダンで絵になる。川には、野鴨がうかび、鯉もおよぐなど、自然環境は抜群といってもよいだろう。

管内には幹線道路もないしたがって交通公害という問題も特に発生していない。ここに管内最大の世帯数を擁する上祖師谷町会を筆頭に、粕谷会、祖師谷橋の三町会と成城に近いパークウエスト、環八沿いの都営第一八幡山の二自治会、計五つの組織が上祖師谷出張所職員と連携し、まとまりのある交流を積重ね活動している。

特色は、まちづくり推進協議会、まちづくり熱心な人たちを中心に地区カルテ

や部会活動（緑化・安全・健康・美化）を展開している。

ごみ減量のリサイクルの取組みも町会が積極的で、管内には九九個所の集積ステーションを設置して、さらに広がりを見せている。美化キャンペーンにも力

を入れ、六月は集中的に町会・自治会が主体となってゴミゼロデーを設定し、街のすみずみのゴミ一掃運動は見事である。

地区防災訓練は、どこにも負けない取組みを自覚している。今年も九月八日の実施日を早やばやと決めて一〇〇〇人規模を目標に実行委員会をスタートさせた。

十一月には、地域ぐるみのお祭り「トライアングル・フェスタ」を都立祖師谷公園で開催した。

この「トライアングル・フェスタ」は、上祖師谷出張所地区の青少年地区委員会や地域の中学生等を中心

とし、手作りイベント「ワールド・フェスティバル」・上祖師谷の児童館まつり「ぼるランド」及び祖師谷留学生会館の「祖師谷芸術祭」の3つのイベントを「トライアングル・フェスタ」として5年度から実施しているものである。

今回も天候に恵まれ会場には多くの子供づれや外国人の姿も見かけ、入場者も一万人以上が集い、さらに神輿やおはやし・和太鼓も

こんだ。

## 烏山寺院街の成立

### (寺町の七十年)

烏山寺院連合会

会長 遠藤 順明

### 関東大震災と区画整理

大正十二年九月一日 関

東地方全域を襲った大地震……地震と同時に起こった大火災……そのため下町

を中心とした東京の町なみは全滅にひとしい災害を蒙った。死者、行方不明十万人余、

### 震災後の復興

(大正末〜昭和初年)

関東大震災のあと政府は早速に復興計画をたて、その実現に着手した。とくに道路工事、下水道工事などは計画通り進化した。ともに浅草、築地、麻布などに寺地を構えていた寺が震災に遭って烏有と化し、都市復興計画によって旧地を離れざるをえなくなった。寺坊復興のため千歳村、烏山に移転しはじめたのは

参加し、和やかに賑い、最高の盛り上がりがあった。このお祭りもすっかり地域に定着し、地域住民の楽しみの一つとして期待されている。町総連の一員として肩をならべ、スクラムを組み、住民の連帯を共通の目標として、今年も上祖師谷管内五つの町会・自治会は切磋琢磨を続けるであらう。

大正末年から昭和初年の頃である。当時の北烏山（現在の寺町）一帯は麦畑と雑木林、のこりは荒地であったが次々に本堂庫裡が新築され、境内は整備されて作庭がなされた。昭和初めバラック建ての貧相な寺町は十年たち、二十年たち、戦後になると見事な瓦屋根の、他の土地には見られないみごとな寺町に変容している。

### みどり会館の完成

(平成八年五月)

烏山寺町は高速道路の北

側からはじまるが、今ここに世田谷区の施策で区営のみどり会館が完成を見た。区民斎場と集会所を備え、北鳥山の景観に一段の威容を添えることとなる。

町総連ニュース

平成八年一月からつぎの会議等が開かれました。

☆二月二十六日 常任理事会

一、平成八年度予算案

二、綱島副会長の退任の件

三、世田谷清掃工場の建替

署名の件

四、理事会の開催の件

五、総会、表彰式開催の件

☆三月十二日 正副会長

世田谷清掃工場の建替え

について区議会の各会派を

震災(大正12.9.1)により烏山寺町に移転した寺院

Table with 4 columns: 移転年, 寺院名, 旧所在地, 宗派. Lists various temples and their relocation details from 1924 to 1944.

訪ね、請願について協力依頼する。

☆三月十八日 正副会長

東京都議会議長を訪ね、

世田谷清掃工場の早期建替

えについて協力依頼

☆三月十九日

同伴につき、区議会議長

宛に九万余名の署名簿を提出する。

☆四月二十三日 正副会長

会及び常任理事会

一、平成七年度事業報告並びに決算

二、平成八年度事業方針並びに予算案

☆五月八日 正副会長

世田谷清掃工場の建替え

について、都議会の各会派

を訪ね、請願協力依頼する。

☆六月十三日 正副会長

及び常任理事会

一、平成八年度総会表彰式準備

☆連絡所移転のお知らせ

当町会総連合会の事務は

第二号の町総連ニュースで

お知らせしたとおり、世田

谷区生活文化部管理課調整

係が担当しており、連絡所

は、天祖神社社務所(世田

谷区世田谷一―二三―五)

内に開設していました。

このたび、この連絡所を

三田会長宅(世田谷区深沢

二―三―三)に移転するこ

とが、六月十三日の正副会

長会および常任理事会で決

定され、同十四日正式に関

係先に通知しました。

編集後記

予て町会運営に関して深い理解を示して下さっている、熊本都議会議長から町会の在り方について御教示をいただくことが出来たことは、今後の町総連運営に大きく寄与す

お悔やみ申し上げます

池尻北自治会会長

綱島榮蔵殿

8年2月25日

交和会会長(深沢)

小澤節生殿

8年5月16日

ることと思われる。

お話の中にあつた都町連への加入については早速前向きに対処することが六月十三日の常任理事会で決定した。

情報誌発行回数増加が一部話題に上っているが、編集委員会の回数を増加することは今のところ困難なので一回の頁数を増すことにし、今回は十二頁となりました。

そしてより多くの人に寄稿して貰うことが、会員町会の関心を高めることになるという考えから、従来の一地域(総合支所単位)一名でなく、一地区(出張所単位)に一名の寄稿をお願いしたが、十分に意図が通じないで、玉川と烏山地域だけが一地区一名の出稿を得ることができたが、これも発刊以来守ってきた各地域の独自性に頼り、余り一定枠で律しない方針に基づくものと理解されたい。(W)